

施設カルテ

施設番号 498 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/03

施設基本情報

施設名	防災資機材倉庫		
所在地(住所)	中区桑野0570-000-00		
所管局区室課	危機管理室危機管理室		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	操南中学校	小学校区	操明小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	直営	延床面積	38.25 m ²
目的外使用	無	建築面積	38.25 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	168.26 m ²



施設概要 行政系施設

設置目的 防災資機材を保管するため

設置根拠 なし

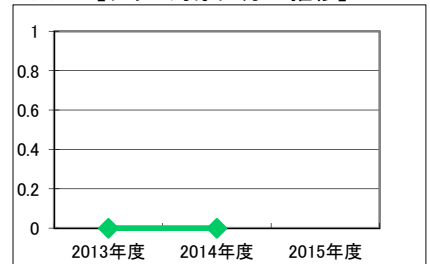
用途地域 指定なし 法定容積率 200 % 法定建蔽率 60 %

用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1棟	駐車台数	1台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	出入口	—	ハザードマップ指定	
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	—	洪水時の浸水深	0.5~1.0m未満
	冷暖房設備	×	階段	—	津波時の浸水深	0.3~1.0m未満
	通信設備	×	昇降機	—	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域
	調理設備	×	便所	—	地震・揺れやすさ	震度6強の地域
	入浴設備	×	駐車場	—	地震・液状化危険度	きわめて高い
	代替電源設備	×	開設年月日	1981/04/01	土砂災害計画区域等	指定なし
		環境配慮	分煙対策	指定なし	供用廃止日	—
		自然エネルギー・太陽光	アスベストの使用	不明		
		屋上緑化・壁面緑化				

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 498 施設名 防災資機材倉庫

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	0	0
非常勤	0	0

※運営人員数の人件費は理論値です。

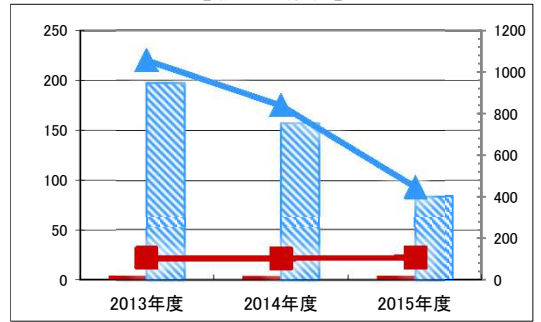
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	0	0	-
外	使用料及び手数料	0	0	-
外	目的外使用料	0	0	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

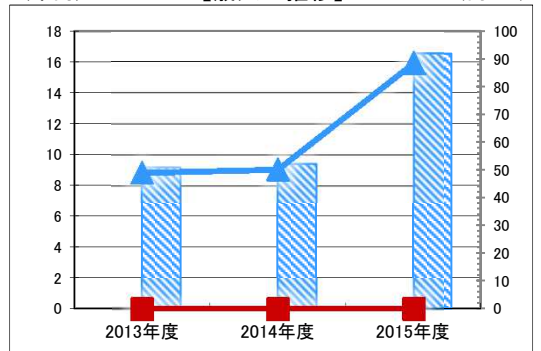
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第16位	107	第14位
2014年度	4 第17位	105	第14位
2015年度	4 第13位	110	第16位

【歳出の推移】



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

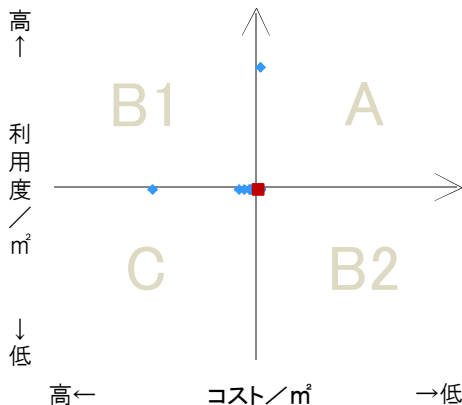
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	428	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	北事業所 足守分室				
所在地(住所)	北区足守1391-001-00				
所管局区室課	環境局環境事業課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設		
財産中分類	公用財産	地区	足守		
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	現場事務所		
中学校区	足守中学校	小学校区	足守小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし		
管理運営	直営	延床面積	147.95 m ²		
目的外使用	無	建築面積	147.95 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	1,306.42 m ²		

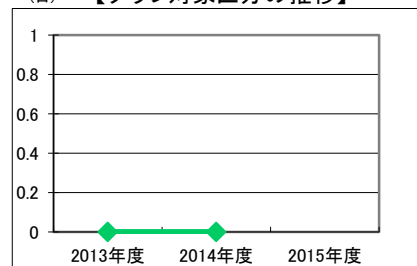


施設概要	ごみ処理施設								
設置目的	第四条 市町村は、その区域内における一般廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図り、及び一般廃棄物の適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めるとともに、一般廃棄物の処理に関する事業の実施に当たっては、職員の資質の向上、施設の整備及び作業方法の改善を図る等その能率的な運営に努めなければならない。								
設置根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	4 棟	駐車台数	— 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×	階段	×	地震・危険度	建物全棟率が3%未満の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	不明	開設年月日	1992/03/31	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 428 施設名 北事業所 足守分室

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	7	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	7
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

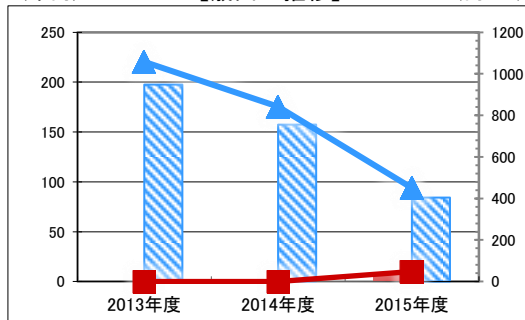
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

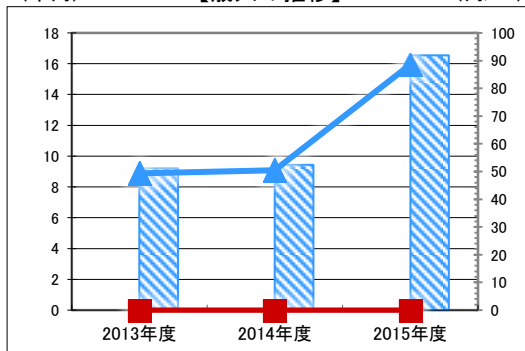
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	7 第12位	48 第22位	

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

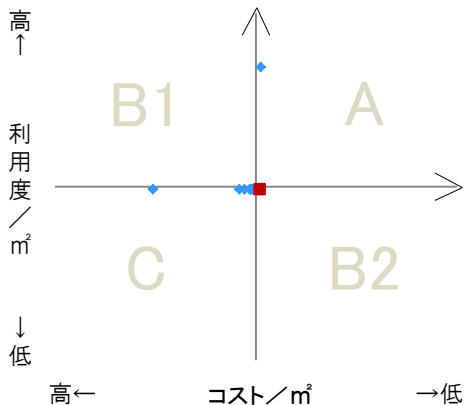
・ハザードマップ指定、地震、危険度 建物全壊率が3%未満の地域

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 442 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	三幡 水防倉庫		
所在地(住所)	中区藤崎0638地先		
所管局区室課	中区役所維持管理課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	操南中学校	小学校区	操明小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	直営	延床面積	36.00 m ²
目的外使用	無	建築面積	36.00 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²



施設概要 行政系施設:消防施設(水防倉庫)

設置目的 水防資材の保管

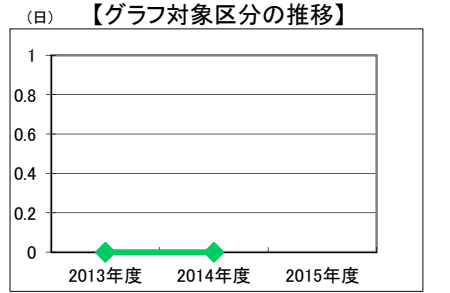
設置根拠 不明

用途地域 準工業地域 法定容積率 200 % 法定建蔽率 60 %

用途地域以外の指定地域	指定なし		全棟数	1棟	駐車台数	0台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満		
	災害用備蓄の有無	○		廊下等	—	津波時の浸水深	1.0~2.0m未満		
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	—		
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	—	地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	不明	開設年月日	1996/05/24	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 442 施設名 三幡 水防倉庫

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		11	12	12	
内 需用費	消耗品費	0	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	11	12	12
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	0	-	-		
外 訳	役員費	0	-	-	
委託料	0	-	-		
使用料及び賃借料	0	-	-		
備品購入費	0	-	-		
その他経費	0	-	-		

●運営人員数(人)

常勤	0	0
非常勤	0	0

※運営人員数の人件費は理論値です。

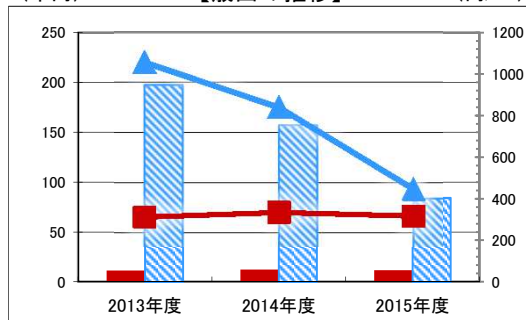
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	0	-	-
	目的外使用料	0	-	-
	その他	0	-	-
	直営	0	-	-
外 訳	使用料及び手数料	0	-	-
	目的外使用料	0	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

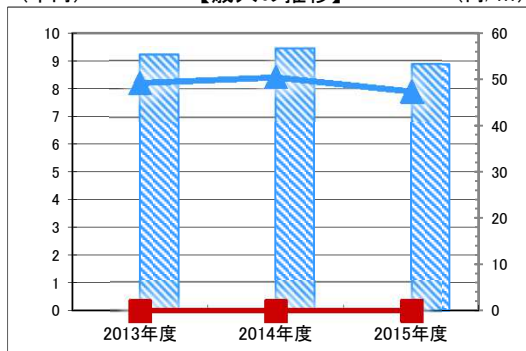
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	11	第8位	318
2014年度	12	第7位	340
2015年度	12	第9位	322

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

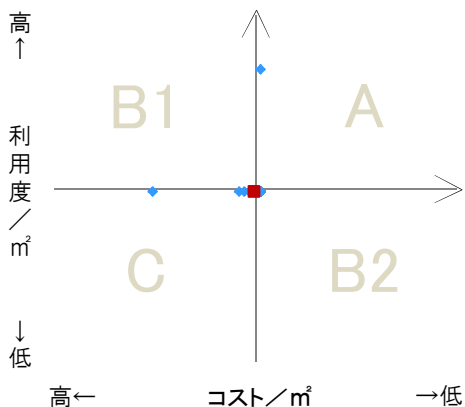
建物全壊率が3%未満の地域

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 443 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	竹田 水防倉庫		
所在地(住所)	中区竹田0098-014-00		
所管局区室課	中区役所維持管理課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	操山中学校	小学校区	宇野小学校
複合化状況	有	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	直営	延床面積	18.00 m ²
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²
土地所有状況	-	敷地面積	- m ²



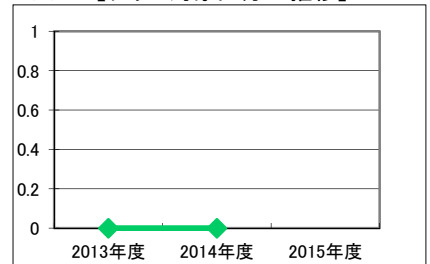
施設概要	プレハブ倉庫		
設置目的	水防用品の備蓄		
設置根拠	不明		

用途地域	第一種住居地域	法定容積率	- %	法定建蔽率	- %		
用途地域以外の指定地域	景観形成重点地区	全棟数	1棟	駐車台数	1台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満
	災害用備蓄の有無	○	屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	-
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	×	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	×	ハザードマップ指定	開設年月日	1900/01/01
					ハザードマップ指定	供用廃止日	-

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 443 施設名 竹田 水防倉庫

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
	水道	0	0	0	
	修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

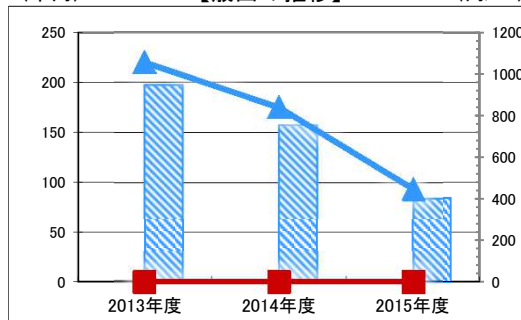
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
		-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

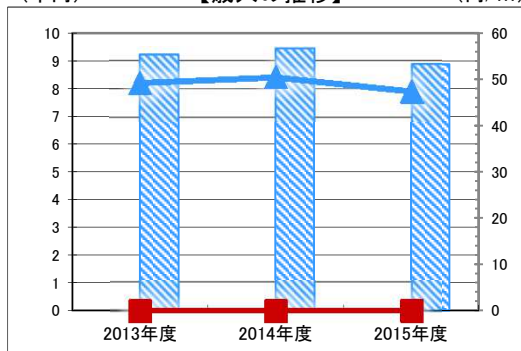
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	-	0
2014年度	0	-	0
2015年度	0	-	0

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

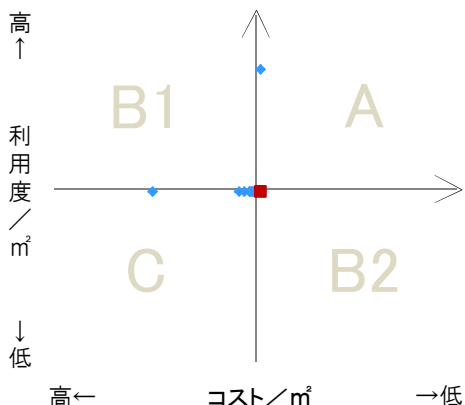
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 444 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	中島 水防倉庫			
所在地(住所)	中区中島0000-000-00			
所管局区室課	中区役所維持管理課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設	
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域	
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場	
中学校区	高島中学校	小学校区	旭操小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	直営	延床面積	25.00 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	-	敷地面積	- m ²	

施設概要 プレハブ倉庫

設置目的 -

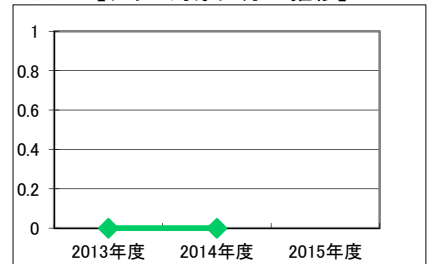
設置根拠 -

用途地域	第二種中高層住居専用地域	法定容積率	- %	法定建蔽率	- %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	- 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	出入口	×	ハザードマップ指定	
	災害用備蓄の有無	○	廊下等	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満
	冷暖房設備	×	階段	×	津波時の浸水深	指定なし
	通信設備	×	昇降機	×	地震・危険度	-
	調理設備	×	便所	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	入浴設備	×	駐車場	×	地震・液状化危険度	極めて低い
	代替電源設備	×	開設年月日	1900/01/01	土砂災害計画区域等	指定なし
			分煙対策	×	供用廃止日	-
			アスベストの使用	×		
			環境配慮			

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 444 施設名 中島 水防倉庫

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		36	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	32	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

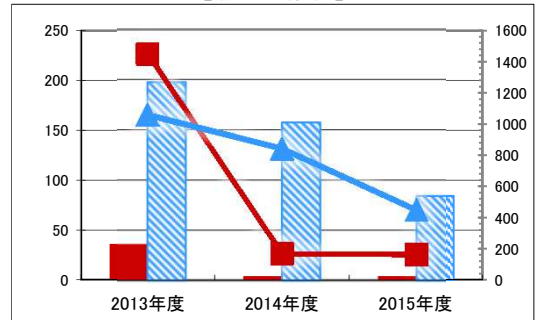
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

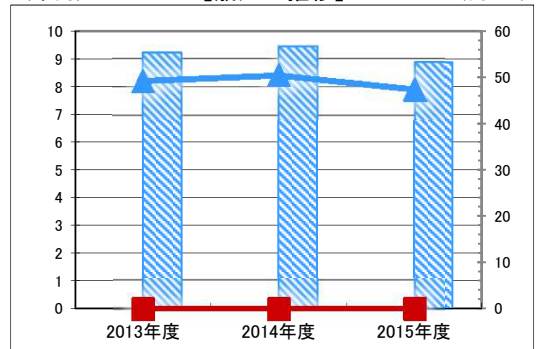
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	36	第4位	1,448
2014年度	4	第10位	174
2015年度	4	第13位	168

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

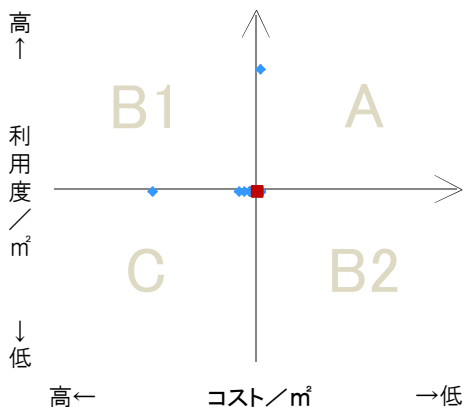
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 446 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/01

施設基本情報

施設名	新 水防倉庫		
所在地(住所)	東区西大寺新0013-001-00		
所管局区室課	東区役所維持管理課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	西大寺中学校	小学校区	豊小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	29.58 m ²
目的外使用	無	建築面積	29.58 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²



施設概要	倉庫
------	----

設置目的	水防管理者である岡山市が水防の目的を達成するため、整備された資材、器具、設備が必要なため。
------	---

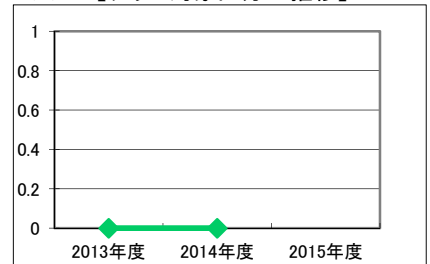
設置根拠	水防法33条の水防計画に基づく施設
------	-------------------

用途地域	第一種中高層住居専用地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	○		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	—		
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	—	地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	2002/03/08	供用廃止日	—
						駐車台数	—		
						開設年月日	2002/03/08		
						供用廃止日	—		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 446 施設名 新 水防倉庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	4	4	4
		水道	0	0	0
	ガス	0	0	0	
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

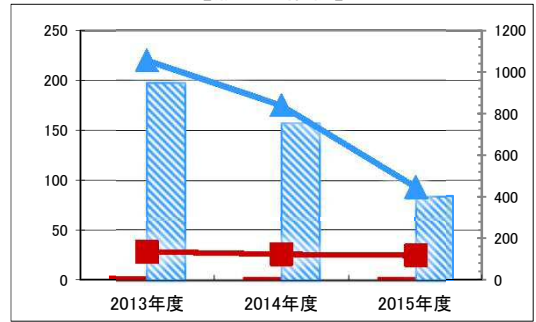
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	其他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第16位	139	第12位
2014年度	4 第18位	127	第12位
2015年度	4 第22位	122	第15位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

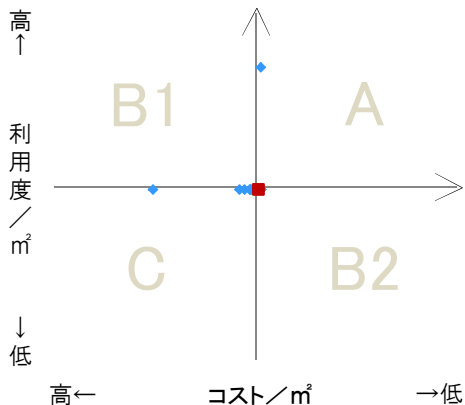
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 447 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/01

施設基本情報

施設名	中野 水防倉庫		
所在地(住所)	東区西大寺中野0000-000-00		
所管局区室課	東区役所維持管理課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	西大寺中学校	小学校区	西大寺小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	10.42 m ²
目的外使用	無	建築面積	10.42 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²



施設概要	倉庫
------	----

設置目的	水防管理者である岡山市が水防の目的を達成するため、整備された資材、器具、設備が必要なため。
------	---

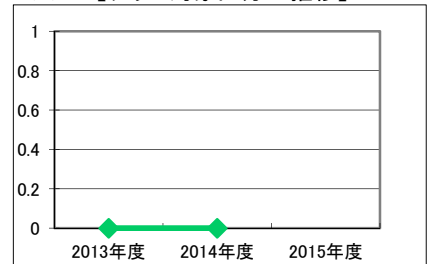
設置根拠	水防法33条の水防計画に基づく施設
------	-------------------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満	
	災害用備蓄の有無	○		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域	震度6弱の地域	
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	地震・液状化危険度	高い	
	調理設備	×		便所	—	駐 車 場	土砂災害計画区域等	指定なし	
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	開設年月日	2001/03/30	供用廃止日	—
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無				

供給情報

区 分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 447 施設名 中野 水防倉庫

財務情報

●歳出

区分		(千円)		
区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計		0	0	4
内 需用費	消耗品費	-	-	-
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0
	電気	0	0	4
	光熱水費	0	0	0
	ガス	0	0	0
	水道	0	0	0
修繕費	-	-	-	
外 訳		-	-	-
役員費		-	-	-
委託料		-	-	-
使用料及び賃借料		-	-	-
備品購入費		-	-	-
その他経費		-	-	-

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

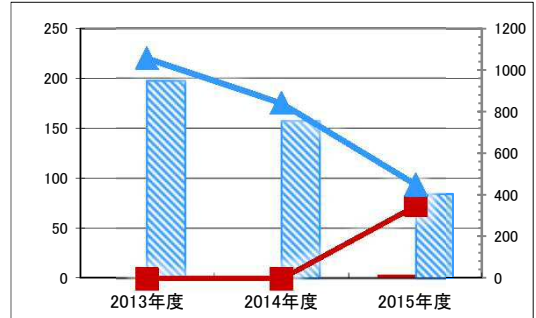
●歳入

区分		(千円)		
区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	使用料及び手数料	-	-	-
外 訳	直営	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	4	第21位	351 第8位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

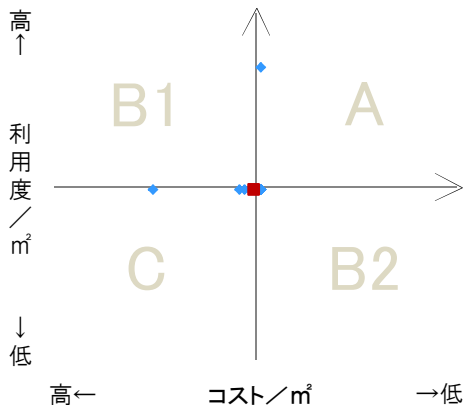
河川(砂川)区域内に建築。河川法上占用許可あり。

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 448 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/01

施設基本情報

施設名	福治 水防倉庫		
所在地(住所)	東区福治0854-002-00		
所管局区室課	東区役所維持管理課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場
中学校区	西大寺中学校	小学校区	雄神小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	27.01 m ²
目的外使用	無	建築面積	27.01 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²



施設概要	倉庫
------	----

設置目的	水防管理者である岡山市が水防の目的を達成するため、整備された資材、器具、設備が必要なため。
------	---

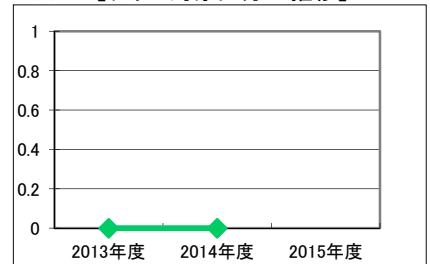
設置根拠	水防法33条の水防計画に基づく施設
------	-------------------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	○		廊下等	—	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	—	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	—	地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1990/08/21	供用廃止日	—
						駐車台数	—		
						開設年月日	1990/08/21		
						供用廃止日	—		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 448 施設名 福治 水防倉庫

財務情報

●歳出

区分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	4	4	4
		水道	0	0	0
	ガス	0	0	0	
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

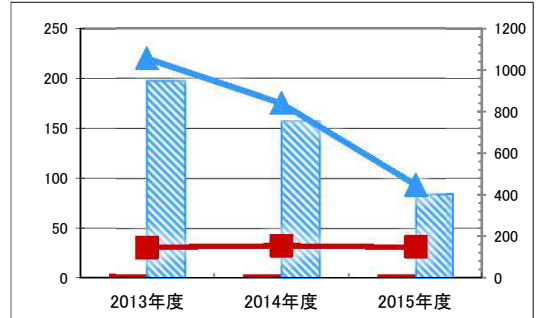
●歳入

区分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第13位	153	第11位
2014年度	4 第10位	161	第11位
2015年度	4 第13位	155	第14位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

特記事項

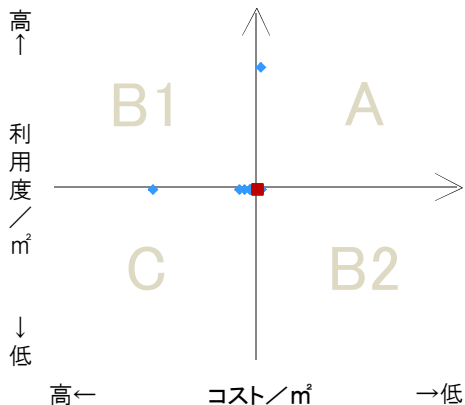
河川(砂川)区域内に建築。河川法上占用許可あり。

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い


凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 450 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/01

施設基本情報

施設名	升田 水防倉庫			
所在地(住所)	東区升田0314-001-00			
所管局区室課	東区役所維持管理課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設	
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)	
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場	
中学校区	上南中学校	小学校区	政田小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	33.58 m ²	
目的外使用	無	建築面積	33.58 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²	

施設概要	倉庫
------	----

設置目的	水防管理者である岡山市が水防の目的を達成するため、整備された資材、器具、設備が必要なため。
------	---

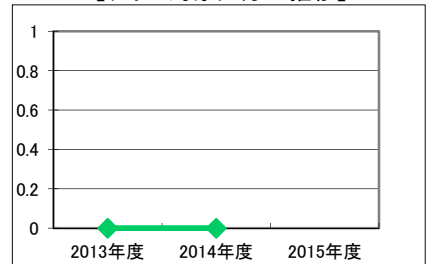
設置根拠	水防法33条の水防計画に基づく施設
------	-------------------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	○	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	2.0~5.0m未満
	災害用備蓄の有無	○		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全棟率が7~10%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1900/01/01
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 450 施設名 升田 水防倉庫

財務情報

●歳出

区分		(千円)			
区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	4	4	4
		水道	0	0	0
	ガス	0	0	0	
	修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

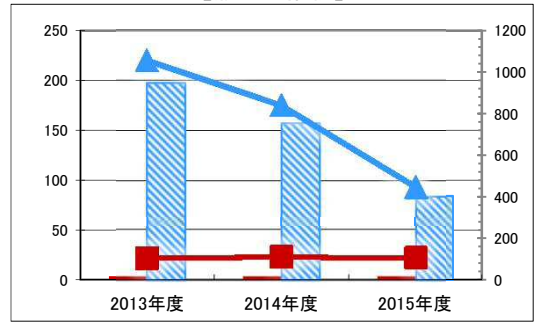
●歳入

区分		(千円)		
区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第19位	105	第15位
2014年度	4 第18位	112	第13位
2015年度	4 第22位	107	第17位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

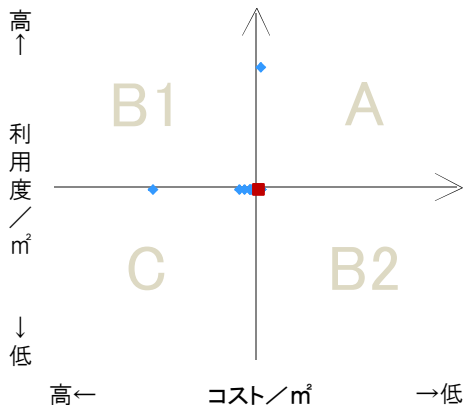
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	465	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/01
施設基本情報					
施設名	小串 水防倉庫				
所在地(住所)	南区小串2431-004-00				
所管局区室課	南区役所維持管理課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設		
財産中分類	公用財産	地区	児島		
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場		
中学校区	光南台中学校	小学校区	小串小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	25.52 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	115.00 m ²		

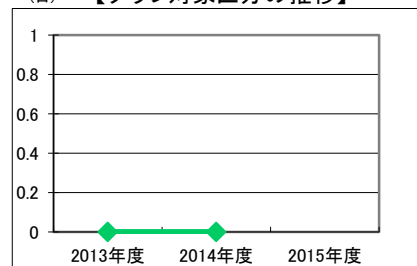


施設概要	水防資材倉庫							
設置目的	洪水、津波又は高潮に際し、水災を警戒し、防御し、及びこれによる被害を軽減し、もつて公共の安全を保持することを目的とする。							
設置根拠	水防法							
用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	— 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	1.0~2.0m未満
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度4以下の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×		分煙対策	指定なし		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1900/01/01
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 465 施設名 小串 水防倉庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		5	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	5	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

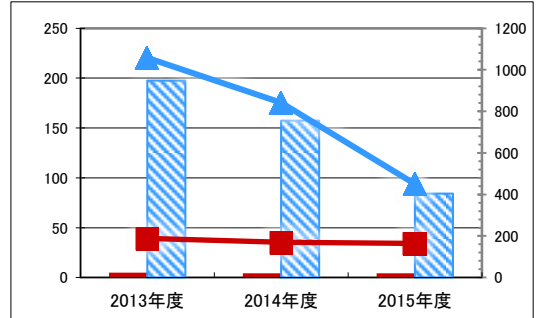
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

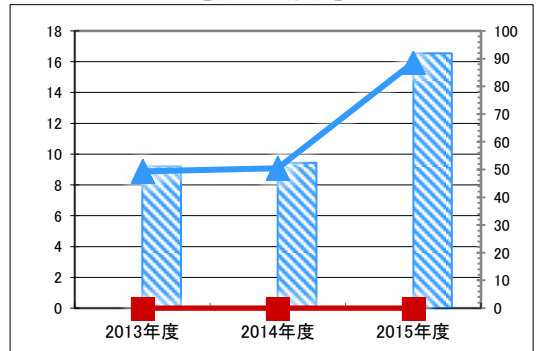
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	5 第11位	188	第9位
2014年度	4 第10位	170	第9位
2015年度	4 第13位	164	第12位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

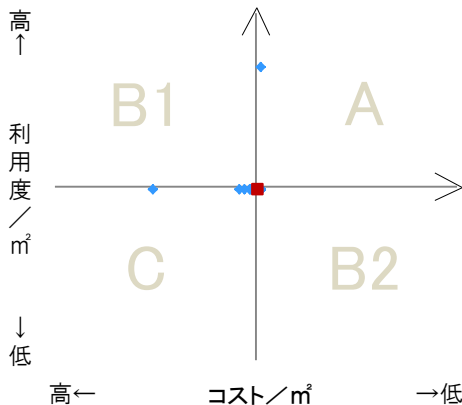
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	467	基準日	2016/04/01	出力日	2017/03/23
施設基本情報					
施設名	今 水防倉庫				
所在地(住所)	北区今七丁目0016-102-00				
所管局区室課	北区役所維持管理課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	その他行政事務系施設		
財産中分類	公用財産	地区	北区本庁管轄区域		
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	倉庫・駐車場		
中学校区	御南中学校	小学校区	西小学校		
複合化状況	—	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	81.00 m ²		
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		

施設概要
北区維持管理センター内の倉庫の一部

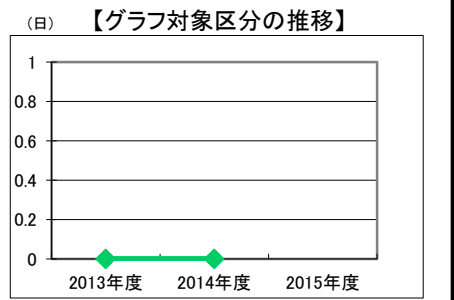
設置目的
水害の防止及び被害を軽減するため

設置根拠
不明

用途地域	第二種中高層住居専用地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %		
用途地域以外の指定地域	防火地域	全棟数	1 棟	駐車台数	— 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	—	バリアフリー化	出入口	—		
	災害用備蓄の有無	—		廊下等	—		
	冷暖房設備	—		階段	—		
	通信設備	—		昇降機	—		
	調理設備	—		便所	—		
	入浴設備	—		駐車場	—		
	代替電源設備	—		開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	—
	環境配慮	自然エネルギー・太陽光		—	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満	
		屋上緑化・壁面緑化		—	津波時の浸水深	指定なし	
		設備(電気)		—	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域	
	設備(雨水・中水)	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域			
	その他省エネ	—	地震・液状化危険度	高い			
	分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし			

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 467 施設名 今 水防倉庫

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	0	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	0	
外 訳	役員費	-	-	0	
委託料	-	-	0		
使用料及び賃借料	-	-	0		
備品購入費	-	-	0		
その他経費	-	-	0		

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

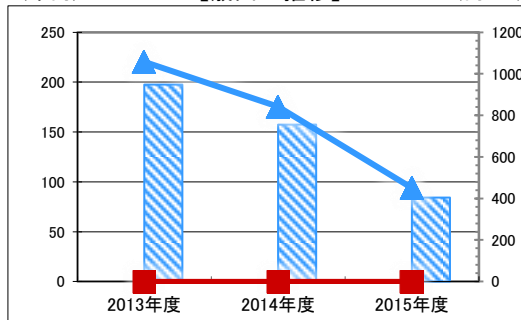
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

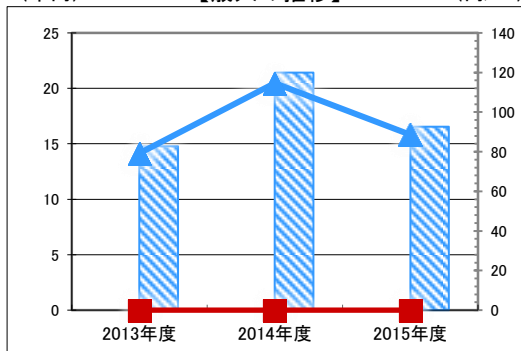
施設分類	その他行政事務系施設	総施設数	46
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	-	0
2014年度	0	-	0
2015年度	0	-	0

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

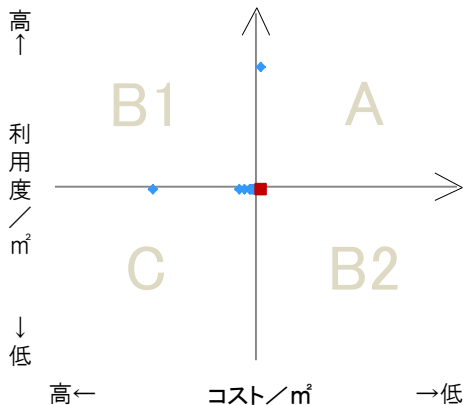
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

